

ワヤンの福笑い。

Museum Wayang

ワヤン博物館

ワヤンはインドネシアを代表する伝統芸能の1つで、ユネスコの無形文化遺産にもなっています。ワヤン博物館は「伝統」という重厚なイメージを裏切り、何やら、かわいらしく見える建物です。それもそのはず、ここは昔、教会でした。博物館は、それを改築したものなのです。

1階の廊下には、「ワヤン・ゴレック(Wayang Golek)」と呼ばれる、立体的な木製の人形が主に飾られています。中には「マネキン？」と思わず後ずさってしまうような、人間サイズの妙に迫力のある人形も。

2階へ上がると、今度はワヤン・クリット(Wayang Kulit)がお目見えします。これぞワヤン！というトラディショナルなものから、大きさや材質はもとより、制作された地域や時代、モチーフとなっている題材がさまざまに違うものまで、バラエティーに富んでいるのが特徴です。

ふと展示室の床を見ると、ワヤンのパーツの絵が。人の形をしたワヤンですが、それぞれのパーツにはいろいろな種類があるんです。目、鼻、手、足……まるで福笑いか着せ替え人形のようにです。好き勝手に組み合わせればいいかどうかは……不明ですが。

ワヤンのほかに、ワヤンの上演に欠かせないガムラン一式や、ワヤンを題材にした絵、外国から来た人形なども展示されています。

毎週日曜(第1日曜を除く。10:00～14:00)はワヤンの上演が行われていて、スダ、ブタウィ、ジャワなど、インドネシア各地のワヤンを楽しむことができます。



Jl. Pintu Besar Utara No.27

Tel : 692-9560

9 : 00～15 : 00

月・祝休み

大人2000ルピア、学生1000ルピア、

子供600ルピア

金塊の重さを体験！

Museum Bank Indonesia インドネシア銀行博物館

インドネシア銀行とは、日本では「日本銀行」に当たる中央銀行です。2009年にオープンしたインドネシア銀行博物館は、さすが国家の基幹となる機関がプロデュースしているだけあって、正統的とも言える博物館です。

使われている建物は、オランダ領東インド時代に「De Javasche銀行」として設立されました。独立後にインドネシア銀行に変更。現在は、国から文化財に指定されています。

メインの展示室では、植民地支配以前から現在に至るまでのインドネシアにおける貨幣の変遷の歴史が、ジオラマや写真、モニターなどを用いて、詳しく描かれています。

インドネシアと世界のお金を集めた展示室は見ごたえがあります。日本占領時代に発行されたルピア紙幣も展示されています。いろんな形や材質のものがあり、中には三角のコインや、重さを量って使われたであろう粒状のお金まであり、楽しんで見るができます。

もう一つ忘れてはいけないのが「金塊の部屋(?)」。金というよりチョコレートの包みを思わせる金色の塊の山(もちろん偽物ですが)を横目に、金塊の実際の重さを、手に持って体験することができます。

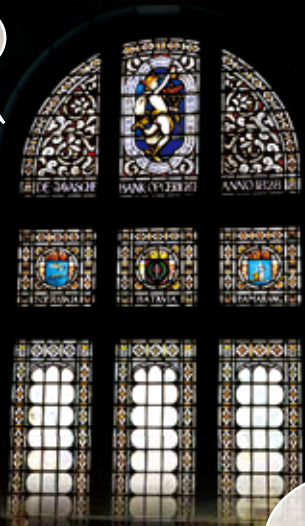
Jl. Pintu Besar Utara No.3
Tel : 260-0158
8 : 00~15 : 30(土日16 : 00)
月・祝休み
入場無料



大日本帝国政府発行の5 Roepiah札
ちょっと複雑な気分……

De Javasche銀行の名残が
こうして美しく残っています

インドネシア銀行の歴代ロゴ、
こんなに変えなくても……？



お金は確かに便利ですが、金塊を前
にすると、いつ何時、ただの紙切れに
変わるかもしれない……と思ってしまう
のは私だけでしょうか？

交易とともに貨幣システム
も進化していききました

来館記念にロザ入り
バッグ、おひとつ
いかが？



博物館の外で「お金を売る人」の
顔面いろいろのピン札の束、誰が
買うの……？ 何のため……？



「ムルデカ」の意味を考える。

Museum Satria Mandala 軍事博物館

ジャカルタの目抜き通り、ガトット・スプロト通り。ここに突如、現れる戦闘機！戦車！ミサイル！

目立つ要素とは裏腹に、建物自体はシンプルで落ち着いたたたずまいです。元々は、スカルノ初代大統領第5夫人だったデウィ夫人の住まいでした。スカルノ失脚後、スハルト時代の1972年に博物館としてオープンしました。

インドネシア国軍の紋章と軍旗に迎えられて中へ入ると、まずは1945年8月17日早朝に起草された独立宣言文(のレプリカ)が展示されています。そう、インドネシアの軍事を語ることは、インドネシアの独立を語ることにほかならないのです。

展示は大まかに3種類に分かれています。独立宣言とともに始まった全国各地での独立戦争のジオラマ、歴代将軍の功績、そしてピストルから戦闘機までの武器コレクションの数々です。

最初のジオラマはもちろん、スカルノが独立宣言を読み上げているところです。スマランの5日間戦争(スマラン事件)、アンバラワの戦い、バンドン火の海事件のジオラマもありました。

将軍の部屋では、スモハルジョ、スティルマン、ナスティオン、そしてスハルトの功績がまとめられています。スティルマン将軍が乗ったというお輿も展示されていました。



同様のビルとうまく共存できちゃってる???



武器はピストル、砲弾、戦闘機、輸送機、装甲車などなど。その価値のほどはよくわかりませんが、お気軽に触れて乗れて……というのは、さすがインドネシアです。

ここを訪問して初めて、「ムルデカ(独立)」の意味が少しだけわかったような気がしました。

Jl. Gatot Subroto 14-16, Kuningan Timur Village

Tel : 522-7949 9 : 00~14 : 30 月・祝休み

大人2500ルピア、学生・子供1500ルピア

カメラ持ち込み2000ルピア、ビデオ持ち込み2万5000ルピア

インドネシア語ガイド3万5000ルピア、英語ガイド7万5000ルピア



柵なし、囲いなし、警備員なしの
よび登ってもOK、ただし自己責任
でお願いします



これが「独立宣言文」



幹部だよ、全員集合！ なぜそ
んなに勲章が必要なの……？



スハルト元大統領の
軍功の数々

白亜の洋館でバティック体験。

Museum Tekstil Jakarta テキスタイル博物館

突如、現れた白亜の洋館。タナアバン駅前の雑踏の中で、そこになじんでいるのが浮いているのか、とさには判断できない独特の雰囲気をもとって建っています。

瀟洒なこの建物は、19世紀初頭の建設当時、フランス人の所有するヴィラでした。その後は国軍本部として使用され、1976年にスハルト元大統領夫人により、テキスタイル(布)博物館としてオープンしました。

展示棟は特設展と常設展の2棟に分かれています。特設展では、その時々でいろいろなテーマの展示を行っており、取材した時は「樹皮を使った伝統的な布」展を開催中でした。インドネシア各地から集められた樹皮製の衣類、雑貨、寝具などが飾られていました。

常設棟であるバティック・ギャラリーは2010年にオープンしたばかり。地方ごとのバティック・コレクションが展示されています。

バティックと一口で言っても種類はさまざま。用途の違いによってスレンダン(肩にかける布)、サロン(腰布)、ウドウン(男性が祭礼などの時に頭に巻く布)、カインパンジャン(「長い布」の意、サロンよりも一回り大きい)などがあります。特別な用途でも制作され、例えばジョグジャカルタ王宮で踊りが着用するバティックは縦2メートル半、横5メートルほどもある大きな布です。

型押しや手描きといった作り方の違い、図



柄、色合いの違いもあります。1つとして同じものはありません。どの布も、展示室のガラスの内側から、それぞれの魅力を静かに主張しているように思えました。

この目玉はバティック制作体験ができる「ワークショップ」です。ハンカチサイズの小さなものから、誰でも気軽に体験できます。大人も子供も楽しめます。お勧めです！

ただ、壁に貼ってある予定表には、小学生170人、中学生250人などの訪問予定が書き込まれていました。団体さんと鉢合わせすると、マイペースでの制作が危ぶまれるかもしれません。

ハンカチサイズだけでなく、大きな布も用意されています。本格的な参加も、もちろんOK！ この日も「間もなく本帰国なので、あと数回で完成させたい」と言う日本人女性が黙々と作業に打ち込んでいました。

帰り道、バティックのおしゃれな服や雑貨を探しに行きたくなること間違いなしです。

Jl. K. S. Tubun No. 2-4

Tel : 560-6613 9:00~15:00 月休み

大人2000ルピア、学生1000ルピア、子供600ルピア

カメラ持ち込み無料(フラッシュ不可)

ワークショップ(バティック体験)は、ハンカチサイズの1色が所要時間約2時間、

インドネシア人3万5000ルピア、外国人7万5000ルピア～

樹の皮を丹念にたいて作った布。手触りは少々、硬め

ブルーでまとめたお部屋、インテリアの参考

中部スラウェシで今も特別な日に着用される、樹皮製の服。色や飾りがとてもおしゃれ



こちらがワークショップ、早速cobaしてみよう!



飛ぶかって?もちろん飛びます。

J NET TRAVEL

Nobukoの
ジャカルタ
Jalan-Jalan

Museum Layang-Layang 凧の博物館

完成した凧を飛ばそうと敷地を駆け回る子供たちの姿がほほえましい博物館。ここには、インドネシア国内外から集められた凧が所狭しと展示されています。

小さいものは長さ約2センチ、大きいものは数メートル。素材は木の葉、紙、布、ビニールなど、さまざま。立体的かつ巨大なものもあり(魚や馬車まで!)、思わず「これ、飛ぶんですか?」と聞いてしまったほど。職員の方いわく「もちろん飛びますよ。飛ばなければ、それは凧ではないからね」。

ここに集められているものの多くは、凧揚げ大会で賞を取ったものです。家族で見に来ていたインドネシア人男性は、入った瞬間、「Keren! (かっこいい!)」を連発していました。

コレクションの数はそれほど多くありませんが、誰でも気軽に凧作りが楽しめます。料金も良心的です。

出張ワークショップも可能なので、子供の誕生日にお友達も呼んで凧パーティー!なんていかがですか?

魚も空を飛ばす! 思いのまま、楽しい凧を作って飛ばしてみよう!



空飛ぶ馬車とはオイラのこたさ〜!
月夜に揚げるとロマンティックかも?!



子供たちは真剣そのものの出来上がりか待ちきれないね

Jl. H. Kamang No.38, Pondok Labu
Tel : 765-8075 / 750-5112
9:00~17:00
祝休み
1万ルピア~(凧作り体験付き)



Tour Information



ジャカルタ・ツアー



ジャカルタ市内観光

料金

Rp.1,500,000/名 (1名様)

Rp. 850,000/名 (2名様)

Rp. 700,000/名(3-4名様)

観光ポイント

独立記念塔、国立博物館、タマンミニインドネシア

含まれるもの

専用車、日本語ガイド、入場料、駐車料

含まれないもの

昼食、その他個人的なご精算

※料金にはいずれもVAT 1%が追加となります。

レンタカー&日本語ガイドチャーター

①レンタカーのみ

空港片道送迎/

5時間 :Rp. 400,000

8時間 :Rp. 600,000

10時間 :Rp. 750,000

12時間 :Rp. 850,000

②レンタカー&日本語ガイド

空港片道送迎/

5時間 :Rp. 800,000

8時間 :Rp. 1,300,000

12時間 :Rp. 1,750,000

*ジャカルタ市内、1-3名様まで

*含まれるもの：ガソリン、

ドライバー、高速料、駐車料

※料金にはいずれもVAT 1%が追加となります。

PT. J Net Travel

Intiland Tower 12th Floor, Jl. Jend. Sudirman Kav.32, Jakarta 10220
Tel (+62 -21) 5790-0481 Fax (+62 -21) 5790-0482

料金は予告なく変更になることがあります。